

授業科目名	【Gカリキュラム】 自然地理学Ⅱ 【EFカリキュラム】 教養講義（自然地理学Ⅱ）	選択	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（中社・地歴・・・）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（中社・地歴・・・）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・・・）科目 【EF】教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・・・）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	自然地理学 応用	担当者	小関 勇次			
授業概要	<p>【実務経験を活かした授業】 高校地理歴史科教諭の経験を活かし、地理的領域における指導内容及び地理的技能を習得させ、教壇に立てるだけの力量を身につけさせる。</p> <p>【概要】 自然地理学Ⅱでは自然地理学Ⅰの応用として地形学の基礎を学び、地形図読解演習・空中写真判読演習を通じて地形解析の技能を習得する。教職志望の学生にはフィールドワークの調査法を習得し、教壇に立てる基本的な技能を身につける。 地球環境問題の事例を中心に人間活動と自然環境の調和の在り方について学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地形解析に必要な地形図の読解や空中写真の判読ができる。 2 自然地理学調査法などの地理的技能を習得している。 3 地球環境問題を説明できる。 					
履修条件	「特になし」					
教科書・参考書	<p>【教科書】 「はじめての自然地理学」古今書院</p> <p>【参考書】 「新詳高等地図」古今書院 高等学校で使用した地図帳の代用可</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス 大学周辺の自然史 予習：シラバスの学習内容を把握しておく		復習：大学周辺の自然史について整理する			
2	地形図読解 演習① 平野の地形・山地の地形 予習：事前に配布されている地形図の作業		復習：平野の地形・山地の地形について整理する			
3	地形図読解 演習② 海岸の地形・その他の地形 予習：事前に配布されている地形図の作業		復習：課題レポートⅠ「地形図読解」			
4	地形解析 演習 予習：小地形についてまとめておく		復習：地形図とアナグリフ地図を併用して地形解析の練習			
5	空中写真判読 演習 予習：大学周辺の空中写真のダウンロード		復習：自宅周辺の空中写真を用いて地形判読練習			
6	フライトシミュレーションによる地形解析 演習 予習：小櫃川の上流から河口までのグーグル映像のダウンロード		復習：自宅周辺のフライトシミュレーションを作成する			
7	生きている渚 陸水と海洋 ～盤洲干潟と富津岬の成因～ 予習：盤洲干潟と富津岬の成因について調べておく		復習：課題レポートⅡ「盤洲干潟と富津岬の地形成因」			
8	流水の作用 侵食・運搬・堆積 予習：小櫃川水系について調べておく		復習：水環境と人間のかかわり方を整理する			
9	環境問題の理解① 身近な環境問題 予習：木更津市内の河川の水質について調べておく		復習：課題レポートⅢ「水質調査レポート」			
10	環境問題の理解② 地球環境問題 予習：地球環境問題について調べておく		復習：地球温暖化・酸性雨・オゾン層破壊・アラル海縮小などの事例をまとめる			
11	環境問題の理解③ 人工改変の功罪 予習：九十九里浜の海岸侵食について Web 検索して調べておく		復習：千葉県の砂浜侵食の現状について整理する			
12	気候変動と異常気象 予習：配布されているワークシートを作成しておく		復習：異常気象とエルニーニョについて整理する			
13	気象災害 予習：ゲリラ降雨・ヒートアイランドについて Web 検索する		復習：都市型自然災害の発生システムを整理する			
14	地震災害と火山災害 予習：配布されているワークシートを作成しておく		復習：課題レポートⅣ「被害想定」			
15	自然地理学調査法 予習：フィールドワークの手法について調べておく		復習：校外学習やフィールドワークを立案する			
評価方法	課題レポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで80% 授業への関心・意欲・態度20%の総計で評価する。					
評価基準	テストは実施しないが、上記授業内容の課題レポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと授業への関心・意欲・態度について加点法で算出する。上記内容について4回の課題レポートの内容が優れている者には、その程度に応じて「S」または「A」を与える。レポート内容が1回未提出、又は不備のある者には、その程度に応じて「B」または「C」を与える。課題レポートが2回以上未提出であった者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、評価する材料がなく評価不能の場合には「F」とする。					
その他	フィールドワークについては休業期間に実施するが日程については別途連絡する。 ※G別：法【-】 社【-】 情【-】 / EF別：法【-】 社【-】 経【-】					